

日本地域経済学会 第31回全国大会プログラム

日本地域経済学会第31回大会は、京都橘大学において開催されます。本大会では、学会創設30周年を記念した共通論題シンポジウム「地域経済学の回顧と展望」を行います。歴代の学会長にご登壇頂き、本学会の到達点と課題、そしてコメンテーターやフロアを交えた議論の中で、今後の展望や可能性について議論していくことを企図しています。また、自由論題報告では6つの分科会（うち2つのセッション）で20報告が予定されています。例年の全国大会とは異なり、地域公開シンポジウムは行いませんが、ご覧いただければわかるように内容の濃いプログラムになっています。是非、沢山の会員にご参加頂きたく思っております。宜しくお願い致します。

日程：2019年12月7日（土）～8日（日）

場所：京都橘大学 清香館（<https://www.tachibana-u.ac.jp/>）

（会場は全て清香館）

参加費：2,000円（資料代として）

大会実行委員会（現地問い合わせ先）

ランビーノ・パラガス（京都橘大学）

TEL: 075-574-4208 E-mail: lambino@tachibana-u.ac.jp

— 大会スケジュール —

◇12月6日（金）

18:30～21:00 理事会：京都テルサ（<http://www.kyoto-terrsa.or.jp/parking/>）

住所：京都市南区東九条下殿田町70（新町通九条下ル）

◇12月7日（土）

09:30～11:45 自由論題報告（第1・2分科会）

09:30～12:00 セッションI（第3分科会）

13:30～15:45 自由論題報告（第4・5分科会）／セッションII（第6分科会）

16:00～17:00 総会

18:00～20:00 懇親会（参加費5,000円）：京都橘学園生協（響友館2F）

◇12月8日（日）

10:00～16:00 共通論題シンポジウム「地域経済学の回顧と展望」

16:00～ 若手自由論題賞授賞式

—自由論題報告 (2019.12.7) —

※各分科会の時間割

【午前の部】 第1・2分科会 9:30~11:45 / 第3分科会 (セッション1) 9:30~12:00

【午後の部】 第4・5・6 (セッション2) 分科会 13:30~15:45

※各報告者の持ち時間: 45分 (報告 25分、質疑 18分、交代 2分)

【午前の部】

●第1分科会 地域開発と公共政策 (9:30~11:45)

座長 川瀬 光義 (京都府立大学)

・佐藤 雪丸

「米軍基地と地域経済の課題—沖縄県伊江島を事例に—」

・大賀 健介 (京都大学大学院 日本学術振興会特別研究員)

「不況産業対策における土地処理問題と跡地開発—1960・70年代の製塩業と造船業を中心に—」

・今田 彰 (医療経営研究センター・コンタクス 大阪市立大学大学院創造都市研究科博士後期課程
修了)

「公民連携型地域医療連携推進法人制による地域医療の展開とまちづくりについて—日本海ヘルスケア
ネットを事例として—」

●第2分科会 不均等発展論と地域振興 (9:30~11:45)

座長 小田 清 (北海学園大学名誉教授)

・大平 佳男 (法政大学)

「地域主体による災害時の再生可能エネルギー設備の活用に関する一考察」

・清水 芳行 (北海道情報大学)

「過疎地域における医療の相対的過剰供給に関する地域経済学的研究—北海道中空知2次医療圏の
事例—」

・内山 昭 (立命館大学社系機構上席研究員)

「地域経済の不均等発展論と中小都市・農村圏の振興」

●セッション1 地域経済分析における『地域ネットワーク』の可能性 (9:30~12:00)

座長 池島 祥文 (横浜国立大学)

・藤本 晴久 (島根大学)

「山陰地方における地域経済牽引企業の取引関係」

・三輪 仁 (九州国際大学) ・池島 祥文 (横浜国立大学)

「企業間取引データに基づく地域間ネットワークの構築と類型化」

・大貝 健二 (北海学園大学) ・池島 祥文 (横浜国立大学)

「企業間取引データによる都市間ネットワークの地域別検証」

・倪 卉 (京都大学)

「地域ネットワークにおける技術指導部門のコネクタ作用とその可能性—広西蚕業技術推進総站—」

・小山 大介 (宮崎大学)

「GVCs 研究と地域経済のグローバル化—国境を横断する取引関係への前進と宮崎県における状況—」

・水島 和哉 (京都大学)

「京都酒造業をめぐる取引関係」

【午後の部】

●第4分科会 農山漁村と地域内経済循環 (13:30~15:45)

座長 多田 憲一郎 (鳥取大学)

- ・宇都宮 千穂 (高知県立大学)
「地方移住政策の地域における影響」
- ・白石 智宙 (京都大学大学院)
「木質バイオマス発電と林業・木材産業—岡山県真庭市をケースに—」
- ・米田 誠司 (愛媛大学)・小山 大介 (宮崎大学)
「国立公園隣接観光地における地域内経済循環—伊勢・志摩における調査結果を中心に—」

●第5分科会 地域産業集積と中小企業 (13:30~15:45)

座長 初澤 敏生 (福島大学)

- ・中島 章子 (機械振興協会経済研究所)
「都市型産業集積の変容に伴う創業人材育成の可能性—東京都墨田区を中心とする城東地域を事例として—」
- ・横田 宏樹 (静岡大学)
「産地型地域産業におけるものづくりと価値づくりの制度的デザイン—家具産地・旭川の事例を中心に—」
- ・吉原 元子 (山形大学)
「地場産業集積における中小企業の協調的行動についての—考察」

●セッション2 認知資本主義論と地域経済 (13:30~15:45)

座長 除本 理史 (大阪市立大学)

- ・岩本 洋一 (久留米大学)
「地域の持続的発展を支える地域資源の意味づけの担い手とは」
- ・立見 淳哉 (大阪市立大学)
「田園回帰と『もう一つの経済』—豊穰化の経済、連帯経済との接点を探る—」
- ・コメント1 長尾 謙吉 (専修大学)
- ・コメント2 佐無田 光 (金沢大学)

<会 場>

12月7日(土)

- ・報告者控室 B110 教室 *12月8日の受付はB101教室前に設置
- ・第1分科会(午前)・第4分科会(午後) B102 教室
- ・第2分科会(午前)・第5分科会(午後) B103 教室
- ・第3分科会(午前)・第6分科会(午後) B202 教室 (*2階の大教室)
- ・総会 B201 教室 (*2階の大教室)

12月8日(日)

- ・共通論題シンポジウム B201 教室 *当日受付はB201教室前に設置
- ・若手自由論題賞表彰式 B201 教室

「地域経済学の回顧と展望」

◇趣旨説明

1989年に日本地域経済学会が創設されて、今年で30周年を迎える。本学会は、「地域経済学に関して、研究者の交流・提携を図り、科学的な理論、分析、政策、及び歴史の分野における研究の発展を目的とし、地域経済の民主的発展に寄与する」（会則第2条）という理念を掲げ、経済学諸分野のみならず経営学や政治学、行政学、都市計画等の隣接諸科学とも協働しながら、年1回の大会や支部研究会を中心に活発な研究交流を積み重ねてきた。加えて、経済のみならず自然や政治、文化、共同体等の独自の性格を持つ統一体である「地域」の現場を何より重視し、アカデミズム内部での閉じられた議論をこえて、行政関係者や企業関係者、社会活動家を交えたシンポジウムや交流実践も展開してきた。さらに、「東日本大震災」後の科学的・社会的要請を受ける形で、日本国内の経済系学会の中で唯一「日本学術会議・東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会」にも参画し、続発する多様で複雑な災害問題に対する歴史・現状分析や政策提言にも積極的に取り組みながら、「人間の復興」に基づく独自の「災害の地域経済学」構築を目指してきた。

そこで、30周年という節目に当たる今年度大会では、「地域経済学の回顧と展望」というテーマを設定し、本学会を長年にわたり牽引してきた4名の会長経験者に登壇いただくことにした。報告者からは、30年間にわたる本学会の活動実績を振り返りながら、日本における地域経済学の到達点と課題、さらには次世代の研究者に対する期待も込めた形で問題提起を発していただく。それを受けて、本学会で活躍する気鋭の中堅・若手研究者3名より、4名の報告に対してコメントをいただき、多角的に議論を展開してみたいと考えている。

果たして、日本地域経済学会は、これまで何を目指し、どのような領域を開拓し、どこまで成果を実現してきたのだろうか。また、地域経済学は、日本あるいは世界の社会科学の中でどのような学問的独自性を帯び、本学会は一体どのような学術的・社会的意義を発揮することが今後は求められているのだろうか。世代をこえた活発な議論を通じて、地域経済学の理論・歴史・政策ならびに本学会の発展の方向性等、これからの展望を描いてみたい。

◇登壇者

[報告者]

杉野 罔明（立命館大学名誉教授、第2代会長）

宮本 憲一（大阪市立大学・滋賀大学名誉教授、第3代会長）

中村 剛治郎（横浜国立大学名誉教授、第4代会長）

岡田 知弘（京都大学名誉教授、第5代会長）

[コメンテーター]

池島 祥文（横浜国立大学）

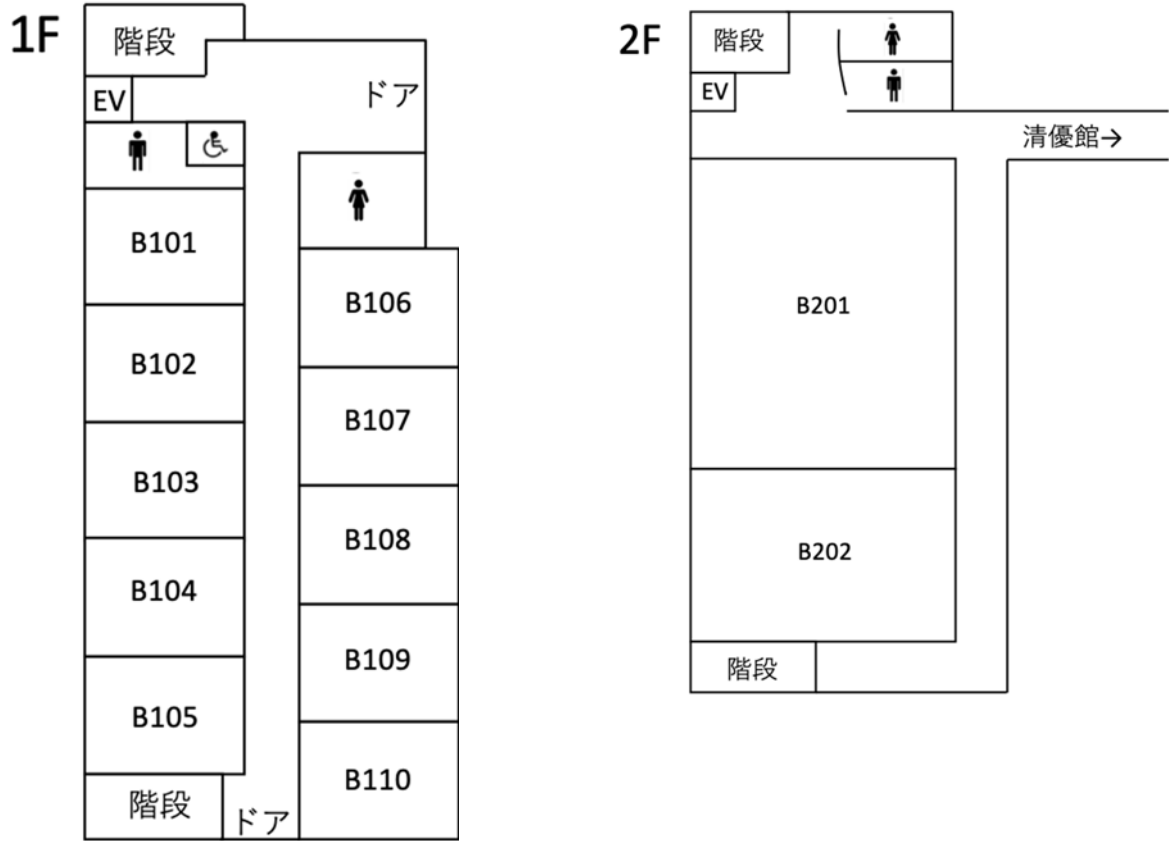
長尾 謙吉（専修大学）

除本 理史（大阪市立大学）

[コーディネーター]

山川 充夫（福島大学名誉・客員教授、第6代会長）

<清香館内の地図>



—その他のご案内—

1) 京都橘大学キャンパスマップ

住所：〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34



2) 交通アクセス

京都橘大学へのアクセス方法はいくつかありますが、オーソドックスなものをご紹介します。

① 山科駅からバスを利用する場合

JR・京阪京津線・京都市営地下鉄東西線「山科駅」バス停2番乗り場から、京阪バス26、26A系統で約20分、終点「京都橘大学」下車（土曜日は「大宅（おおやけ）バス停」終点が多くなります：大宅バス停から徒歩約5分）

※直通便は、日曜日は運休です。
ご注意ください。



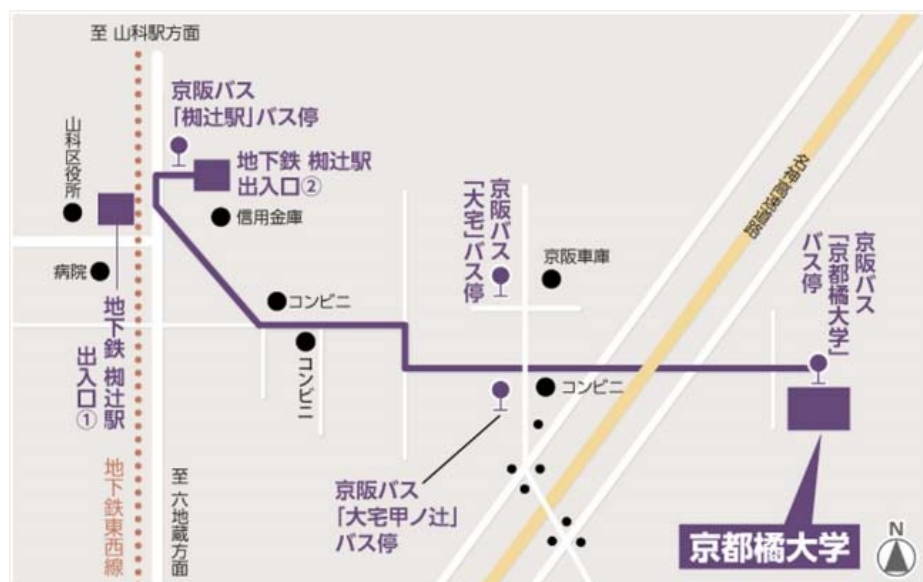
☆ 帰りについては、以下の時間帯で京阪バスを予約済み

12月7日 17:20(総会終了後)2台 19:50分(懇親会終了後)2台

12月8日 17:20分(表彰式終了後)2台

②京都市営地下鉄東西線「柳辻駅」から徒歩の場合

山科駅から柳辻駅まで約5分、柳辻駅から大学まで徒歩約15分



3) 学会開催日の昼食に関して

12月7日(土)は、学内食堂及び構内売店にて入手可能ですが、8日(日)は閉店しています。8日(日)の昼食(弁当+お茶)(600円)を希望される方は、同封ハガキにてお知らせください。

※お弁当は事前予約制です。

4) 託児所の設置に関して

申し訳ありませんが、学内には託児所が設置されておりません。清香館1F一番奥のB105教室を託児スペースとして開放しますので、休憩などにお使いください。(なお、託児サービスの手配もこちらでは行っておりません。個人で手配される方は、業者名等について事前に現地事務局までお知らせください。)

日本地域経済学会 事務局
北海学園大学 経済学部(濱田研究室)
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4-1-40
電話: 011-841-1161 (2736)
メールアドレス: chiikikeizai60@gmail.com